

# 1 研究主題

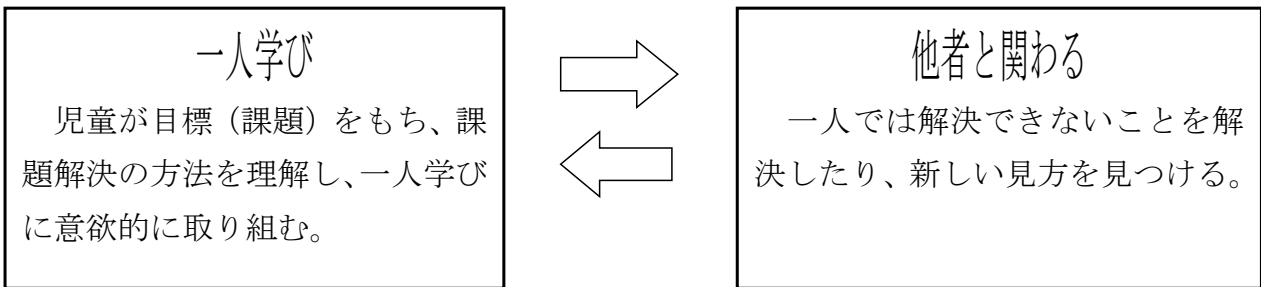
小中合同研究主題

## 「学び合うことで思考力を深める授業づくり」 (三年次)

### 2 主題設定の理由

本郷小中学校は、平成30年度から小中合同で本研究主題に取り組み、本郷オリジナルユニット型研修体制を要として位置付け、授業力向上を目指して「学び合う」ための手立てを探ってきた。今年度、本研究を進めるにあたり、これまでの経緯を鑑み、小・中学校合同で取り組むことにした。そして、9年間の学びを踏まえ、少人数での授業や複式授業での「学び合う」ための手立て解明のために、引き続き本研究主題を継続することにした。

「学び合うことで思考力を深める授業づくり」の「学び合い」には、「自己との対話を重ねつつ、他者と相互に関わりながら、自分の考えや集団の考えを発展させより深く思考をしていく」という意味を込められている。そして、その「学び合い」では、以下のサイクルを大切にしていく。



この学び合いを単元の中だけでなく、1単位時間の授業の中で繰り返していくことで、一人ひとりの思考力が、その時間の中で何度も深まり、確実なものになると考えた。

一昨年度から取り組んできた「本郷オリジナルユニット型研修」は、昨年度から「愛ユニット」「夢ユニット」「誇りユニット」の三つのユニットで構成されている。一つのユニットの小中教職員は、同じ校務分掌で組まれており、具体的な取組を小中で連携し実践できるものである。さらに、そのユニットには、教育委員会指導主事、学校運営協議会、地域の方々も入っていただき、多くの視点のもと授業力向上を目指している。事前検討会や授業後検討会もそのユニットを中心に実施し、その中に市教委指導主事や学力推進リーダーに入っていただくことで、より深く研修できるように計画している。また、全員の授業づくりや検討の視点として、やまぐち総合教育支援センター指導主事の中谷靖彦先生の【8つの視点でつくる「授業のしかけ」】を小中共通して取り入れていくことを共通理解している。校種や専門性の違いを超え、より意味のある研修にしたいと考えた。

### 3 研究の仮説

上記の研究主題を解明するために、次の仮説を設定した。

仮説1	仮説2	
一人学び（個への対応） 直接指導	他者と関わる（関わらせ方） 直接・間接指導	
児童生徒一人ひとりが学習の学び方や進め方を理解し、習得・実践することで、一人ひとりの学びが深まるであろう。	自らの考えをもち、深め、活用、表現することができる授業の場（8つの視点）を充実させることで、子どもたちは豊かに思考・表現することができるようになるだろう。	8つの視点を通して、ユニット型研修をすることで、小・中学校や地域の方々から様々な視点で児童生徒の成長や課題をより深く見とることができるであろう。

## 4 研究の内容

### (1) 本郷オリジナルユニット型研修の推進

- ユニット型研修+ユニットミッションの推進、深化
  - ・ユニット型研修  
各ユニットにおける「教材研究（授業改善）→板書型指導案検討→研究授業」を1セットとしてのPDCAサイクルの推進
  - ・ユニットミッション  
各ユニットでの小中連携の手立ての検討、提案、実施
- 授業改善の視点の共有（8つの発問の視点「判断のしかけ」）
- 課題に対する意欲付け（生活に根ざした課題・身近な課題）
- 複式授業での直接指導・間接指導の充実（プリント学習・ガイド学習）
- 外部（保護者や地域・指導者等）による評価の活用
- 学力向上推進リーダー等との連携、講師によるの指導・助言

### (2) 学習環境・カリキュラムの工夫

- 児童生徒が何でも話すことのできる学級経営
- 小中共通の教室掲示（特別支援教育の視点）
- 乗り入れ授業等の工夫
- 小中連携カリキュラムの推進
- 地域連携カリキュラムの充実（「本郷学」の再構築）
- 学習環境の向上（人的、物的）
- ICT機器の活用（iPad、実物投影機、電子黒板、ホワイトボード等）

### (3) 基礎・基本的な知識と技能定着

- 各種検査（CRT学力検査等）の結果分析による学力向上プランの作成
- 学力向上プランの工夫による個人カルテの作成
- 学力向上プランをもとにした、個別指導を行う「らかんタイム」の実施
- やまぐち学習支援プログラムへの取組（ファイリングによる課題の「見える化」）
- 朝読書の実施

### (4) 学習規律・学習習慣・家庭学習の定着

- 本郷スタイルの構築と徹底  
聞き方「あいうえお」、話し方「かきくえこ」、関わり方「さしすせそ」等
- 岩国市授業スタンダードをもとにした授業づくり
  - ・めあての提示による学習の見通し
  - ・表現活動の場の設定
  - ・振り返りの時間の確保
  - ・児童生徒による授業評価の推進
- 授業の流れ・場の設定
  - ・相手に分かりやすく話す力を身に付けさせるための場の設定（話す）
  - ・聞く力を身に付けさせるための場の設定（聞く）
  - ・書く力を身に付けさせるための場の設定（書く）
  - ・読書習慣の定着（読む）
  - ・人前で自分の思いや考えを表現できる場・時間の設定（伝える）
- 話し合いの仕方、発表の仕方
- 家庭学習の手引き
  - ・家庭学習の手引きの作成と配布

5 研究の組織

	愛ユニット	夢ユニット	誇りユニット
ユニット コーディネーター	■■■■ (小:研修) ■■■■ (中:研修)		
リーダー	■■■■ (小:生徒指導)	■■■■ (中:研修)	■■■■ (小:体育等)
メンター	■■■■ (中:生徒指導)	■■■■ (小:研修)	■■■■ (小:教務)
	■■■■ (小・中:養護)	■■■■ (中:人権等)	■■■■ (中:教務)
	■■■■ (小:教頭)	■■■■ (中:特別支援等)	■■■■ (中:道德等)
			■■■■ (中:教頭)
市教委 (アドバイザー)	■■■■指導主事 ■■■■次長	■■■■指導主事 ■■■■主査	■■■■指導主事 ■■■■次長
学校運営 協議会			
保護者・ 地域の方々	学校便り等で案内		
校務分掌	生徒指導 教育相談 特別活動 健康安全 環境整備 外国語(英語)	研修 学力向上(本郷スタイル) 本郷学(総合・キャリア教育) 情報教育 特別支援教育	教育課程 道德教育 小中一貫教育 学校行事 ボランティア
ユニット ミッション	生徒指導・教育相談関係 (いじめ・情報共有 ・地域連携等) 学校生活全般 (掃除の仕方、挨拶等) 外国語活動の推進	ユニット型研修の総括 学力向上プラン 個人カルテ 本郷スタイルの見直し・改善 本郷学の推進 人権教育 キャリア教育 情報共有システム 特別支援教育関係 HP	教育課程 行事の見直し・改善 道德(評価の仕方) 地域連携 ・地域貢献(ボランティア) 小中一貫教育の推進 (乗り入れ授業)
チャレンジ 目標	明るく元気に生活しよう	本郷スタイルを意識して しっかり学ぼう	ふるさとを大切にして 地域とのつながりを深めよう
アドバイザー	小:教頭	校長	中:教頭